

板橋区教育大綱

板橋区教育ビジョン2025

いたばし学びの支援プラン2025

「いたばし学力向上基本方針」に基づく取組

板橋区授業スタンダード

目指す学力

- 子どもが自ら獲得した知識を基に、思考・判断・表現できる力
- 学びに向かう力
- ・読み解く力の育成を通して
- ・必要な情報を正確に取り出す力、比較・関連付け力、条件を踏まえて記述する力
- ・教科書を読ませる授業
- ・振り返りの重視

エリアの目指す児童・生徒像

- 学びを生き、自分で考え、判断し、表現（行動）できる子ども
- 豊かな心と思いやりの心で人と関わる子ども
- 心身共に健康で、目標に向かって挑戦できる子ども

教育目標

やっぴょう

自分もみんなも

なんとかなる

ありがとう

幸せにする子

ありのままに

【目標達成のための基本方針】

- (1) 確かな学力の定着・向上 (2) 豊かな人間性の育成 (3) 誰もが希望する質の高い教育を受けられる環境整備 (4) 保幼小中のつながりある教育の実現 (5) 地域による学び支援活動の促進 (6) 心身の健康と体力の増進

目指す学校像

「共育・協働により子どもが成長を実感できる学校」

- 児童が将来への夢や希望をもって成長していこうとする意欲をもてる学校
- 教職員が一人一人の持ち味を生かし、組織的に協働し、高め合い、子どもの成長に寄り添い、支援する学校
- 保護者や地域に開かれ、共に歩む学校

令和7年度最重点教育活動

- ◎ 総合的な学習の時間においては、教科の枠や学年の枠を超えた自由進度、自由内容学習を推進する。また、全学級において、教科における自由進度学習を実践する。これらにより、個別最適化、協働的な学びの実現を目指す。

【学習指導】

- 板橋区授業スタンダードの徹底
- 適正な時数管理
- 読み解く力
- チーム学習・思考のバージョンアップ
- 自由進度学習
- 家庭学習の見直し

【生活指導】

- 判断の基準を自律に求める児童の育成
- 管理から支援への生活指導
- きまりの見直し→児童参画
- 生活指導の心得
- ・学級の問題は学年の問題
- ・学年の問題は学校の問題

【学び支援プラン2025】の実現に向けて

- 【誰一人取り残さないための居場所づくり】
- 不登校児童のための居場所づくり
- 学校生活における満足度調査
- 学校いじめ防止基本方針による取組

【小中一貫教育の推進】

- 9年間を見通した単元指導計画
- 学びのエリアによる交流
- 板橋のiカリキュラムの実践
- カリキュラム・マネジメントの推進

【iCSの推進】

- 板橋区コミュニティ・スクール委員会との連携
- 学校支援地域本部との連携
- 板橋第五中学校との合同iCSの開催

【働き方改革】

- 労働時間の目標値設定
- 校務支援システム活用
- 出退勤システムの改善
- ライフワークバランス→子どもと向かい合う時間の確保

【服務事故0】個人情報、わいせつ、体罰等

基本方針達成のための環境条件整備（事務室・給食室・主事室）

具体的な手段で

- 「板橋区授業スタンダード」Bの徹底
- ・アウトプットを重視した「めあて」
- ・めあてを基にした「振り返り」
- ・児童と教師の「学習の流れ」の共有化
- 「板橋区授業スタンダード」Sの推進
- ・よんちゃんタイム 各教科
- 「チーム学習」の「思考のバージョンアップ」の工夫
- 一人一台端末等ICT機器の活用
- 自由進度型家庭学習画（自己学習力等の育成）
- 体験活動、出前授業の充実
- 適案のデジタル化（時数管理の徹底）

- 生活指導の心得
- いじめ防止基本方針の徹底
- ・いじめ防止対策校内委員会、いじめに関する授業・研修会・講話
- 不登校ガイドライン
- 板四小の「よい子の約束」の徹底
- 「よい子のきまり」で判断できる児童の育成
- 副担任制の推進
- 学級会活動の計画的実施（板橋学級活動の日）
- キャリアパスポートの活用による自己肯定感・自己有用感の醸成
- 「板橋区立学校規則の見直しに関するガイドライン」の推進

- 不登校対策の推進
- 学校生活支援員、学力向上専門員、学生ボランティアの活用
- タブレットを活用したオンライン授業の実施
- ふれあい月間生活アンケート、SOSシートの実施
- いじめ対策委員会の実施
- 特別支援校内員会の実施
- 連携型個別指導計画、学校生活支援シート作成
- We b Q Uの実施・活用

- 学びのエリアの目指す子ども像の設定
- エリアの学年呼称の設定
- 一歩教科担任制
- 単元配列表の作成
- 小中一貫教育各教科等カリキュラムの実践
- 板橋のiカリキュラム「環境教育」合同研究
- 板橋五中との兼務発令
- コミュニティ・スクール委員との合同熟議
- 中学校体験、部活動体験
- スタートカリキュラムの実践

- コミュニティ・スクール委員会の年5回開催
- iCS委員による授業参観
- 学校支援地域本部、PTA、さくら会との連携
- iCS委員会分科会による熟議の実施
- 教員を交えた熟議の実施
- iCS、学校支援地域本部等の支援による外部講師授業の実施

- 定時退庁日の設定
- 最終退勤時刻の設定
- 月の残業時間の上限45時間
- 土日連続出勤0
- 完全休校日
- 校務支援システムの有効活用
- 会議の精選、紙文書の削減
- 業務の精選「やらなくてはいけないこと・やりたいことの選別、あった方がよい程度の活動の見直し」
- 通知表2期制

評学
価校

- I 確かな学力の定着・向上 II 豊かな人間性の育成 III 誰もが希望する質の高い教育を受けられる環境整備 IV 保幼小中のつながりある教育の実現 V 地域による学び支援活動の促進 VI 心身の健康と体力の増進 VII 働き方改革

【評価指標】 各種アンケート、全国学力・学習状況調査、等

ACTION

CHECK